



理事長の松本武さ

「第二の人生」の選択肢は様々だ。現役時代に培つた豊富な経験、知識、技術を活かして経済活性化に役立てたいと、臨海コンビナート企業OBたちが地元中小・ベンチャー企業を支援するNPO法人を設立した。

『NPOテクノサポート』は、今年1月に発足した県内初の企業OBによる中小企業支援NPO。理事長を務める市原市青葉台在住の松本武さん(64)は、昨年6月まで姉崎海岸に工場のある石油化学会社の取締役開発部長だった。「定年を控えた昨年の5月、特定非営利活動促進法が改正され、NPOでも経済活動が可能にな

構想は決まっていた。松本さんは、退職と同時に設立に向けて活動を開始した。県の商工労働部に自分たちの事業を提案し、行政と協働して準備を進めていった。同時に能力を生かしたい企業OBへ、参加を呼びかけた。現在メンバーは、市原市を中心に17名。2年後を目標に100人程度に充実させる予定だ。「これまでも、中小企業が元気にならないと日本の産業は発展しない」という思いがありました。国も県も中小企業活性化のために様々な方策を打ち出していますが、これからはトナーシップで社会の様々なサービスを提供していく時代です。技術だけでは手

月 月 国も県も中小企業活性化の  
ために様々な方策を打ち出  
していますが、これからは  
NPO、行政、企業がパー  
トナーシップで社会の様々  
なサービスを提供していく  
時代です。技術だけではモ

か地元中小・ベンチャーや企業を支援するNPO法人を設立した。『NPOテクノサポート』は、今年1月に発足した県内初の企業OBによる中小企業支援NPO。理事長を上田の産業は発展しない時に能力を生かしたい企業OBへ、参加を呼びかけた。現在メンバーは、市原市を中心に17名。2年後を目指に100人程度に充実させる予定だ。「これまでも、中小企業が元気にならない企業を設立した。同時に能力を生かしたい企業OBへ、参加を呼びかけた。現在メンバーは、市原市を中心に17名。2年後を目指に100人程度に充実させる予定だ。「これまでも、中小企業が元気にならない企業を設立した。同時に能力を生かしたい企業OBへ、参加を呼びかけた。現在メンバーは、市原市を中心に17名。2年後を目指に100人程度に充実させる予定だ。

う。今後は大学の持てる技術を紹介しあう。大学と中小企業の橋渡しをする産学連携のコードィネーターもしていく予定だ。

こんなことで困っていませんか?

- 商品開発はできたが、  
だれにどうやって売ったらしいの?
  - 開発商品をもっと増やしたい。  
良い専門家はいないかな?
  - 海外企業にOEMを頼みたいのだけれど
  - 売れ出したのは嬉しいけれど、  
量産ラインはどうしよう
  - 品質管理体制の説明を求められたのだけれど

松杰 8090-6500-3907

松本 8888-8888  
メール lcd32604@nifty.com

ホームページ

<http://www.npo-tsupport.org/index.htm>

# 小企業を元氣にする の技術と能力が